

## ○第1回大野市通学区域審議会 委員からの主な意見

(1) 有終西小学校の現状と諮問に至る経緯

(2) 参考意見の開陳 (有終西小学校PTA会長・有終西小学校校長)

主な意見等	
<p>・平成21年の文部科学省の小中学校の設置運営のあり方等に関する作業部会の第11回目の資料に次のように書いてある。小学校と中学校の連携等ということで、「統合や通学区域を再編する際、小学校と中学校の連携という点からは、同じ小学校の卒業生が同じ中学校へ進学できるよう通学区域の設定を行うことも望ましい」と出されている。慎重な審議をしていただきたい。※3ページ目参照【西校長】</p> <p>・学校のキャパシティ的にはどちらでも問題ないか。</p> <p>・西校長より、文科省では、小学校から中学校に進学することについて、校区がそのまま同じというのが望ましいとの話があった。アンケートにもいろんな意見があって、まとめるのは難しいとみていたが、<u>子どもたちが一緒に行きたいのであれば1つの校区でもいいのかと思う。</u></p> <p>・有終西小学校は、開成中へ、有終東小学校は陽明中へと、両小学校、一緒に考えるべきではないか。</p> <p>・有終西小学校校長の話はどちらかというと子どもみんな同じ中学校に行きたいと思いを持っているので、子どもの思いを汲みとって欲しいとの話だったと思うが、そのような理解でよいか。</p>	<p>・どちらの学校でも問題ない。【事務局】</p> <p>・諮問書のとおり、今回は、まず、有終西小学校の校区について集中して議論いただきたい。小学校再編が令和8年度に迫っている。タイミングを見て有終東小学校の件についても検討していきたい。【教育長】</p> <p>・そういう思いを持っている子が多いが、全員とは言えない。子どもの思いを具現化するのは、大野市の再編の時の考え方であるので、そこに合せて考えていただきたい。【西校長】</p>

<p>・PTA会長は、アンケートの結果として、賛成、反対、中立というのは把握されているか。</p> <p>・有終西小学校の子が陽明中学校や開成中学校へ行って疎外感を感じることはあるのか。</p>	<p>・保護者としては、子どもの意見を優先したいという意見と、子どもの意見はわかるが、<u>きょうだいの問題</u>があったりして実情的に難しいとの意見があった。陽明中学校校区の児童が開成中学校に行くという方向でアンケートをとっているので、陽明中学校付近に住んでいる方は困るとの意見が多い。その逆も同じになるとの意見をもらっている。【PTA会長】</p> <p>・開成中では、4つの小学校から生徒が集まっている。有終南小学校以外は、少人数の入学生である。揉め事などは発生することはないが、最初は、それぞれ出身校ごとに固まってグループを作る傾向はある。卒業の頃には、もうどの小学校から来ているのかもわからないくらい仲良くなっている。子ども同士でも、違和感なく過ごしているように思える。</p>
---	---

○意見交換での主な発言

主な意見等	
<p>・有終西小学校は、開成中学校と陽明中学校に分かれることが前提なのに開成中学校のスタイルしか子どもたちに教えていない。</p> <p>・開成スタイル、陽明スタイルというものがあるのか。</p> <p>・保護者に聞いたところによると、最初は威圧感みたいものがあって馴染めないらしい。まだ、心が育っていない小学校の子どもだから、たくさん的人数でまとまって行けたら子どもたちも元気になるのではないか。</p> <p>・<u>アンケートをもう少し数値化した方がよいのではないか。</u></p>	<p>・簡単に言えば、開成スタイル、陽明スタイルというものはない。当然、学校の特色が出てくることはある。有終西小学校で育った子どもが少数陽明中学校に来て、全然違うという違和感を感じることは基本ない。</p>

<p>・アンケートが教育委員会に提出された経緯、数値化しなかった理由など聞いているか。</p> <p>・有終西小学校は開成中学校、有終東小学校は陽明中学校というようにどこかで線引きした方がよい。<u>距離的、きょうだいの問題</u>もあるが、文科省の方針もあるように、<u>有終西小学校は開成中学校に行くことに、今の時点では賛成である。</u></p> <p>・<u>どちらかに決めて選択制</u>ということを導入せざるを得ないと思う。どの地区に何人くらい子どもがいるのか分かるとよい。</p> <p>・教育委員会に問題提起されたのだから、有終西小学校サイドの思いは決まっているんだろうと思うがどうか。</p>	<p>・対象は去年の保護者全員。通学距離の問題、きょうだいの問題、友だち関係の問題とか、いろんなことが絡んでいて、意思表示が明確にできない方が多いということなので、文章で回答したと聞いている。【教育長】</p> <p>・<u>アンケートを見ると、どちらの意見かわかる。</u>アンケートを提出したということは、有終西小学校の思いは決まっているんだろうと思う。</p> <p>・有終西小学校の方針がもう決まっているのかということについては、そこまでは確信は持てない。教育委員会としてお受けしたのは、アンケート結果を教育委員会に提出をして進学先の見直しの検討を求めてよいかというアンケートをとられたところ、全世帯116世帯中110世帯が出しても良いという結果だったことである。ほとんどの方が、とにかく一度、正式に検討して欲しいという思いだったので、お受けしたということである。【教育長】</p>
---	---

※小・中学校の設置・運営の在り方等に関する作業部会（第11回）配付資料  
（抜粋）平成21年3月16日 文部科学省HPより

小・中学校の適正配置に関するこれまでの主な意見等

6. その他、適正配置の検討に当たり積極的に進めるべきことや、留意すべきことは何か。

<小学校と中学校の連携等>

- 適正規模については、小・中学校それぞれの規模を確保するための横の統合だけではなく、義務教育の9年間全体で一定の規模を確保する縦の統合という考え方もあり得る。
- 地域によっては、学校の統合によって小中一貫教育を推進しているところもあり、適正配置と小中一貫教育を併せて検討することも必要。
- 小中一貫教育という視点や、コミュニティ・スクールという視点も取り入れながら、学校の在り方というものを検討していくことが必要。
- 広域的な区域内の小学校・中学校間のネットワークを形成することにより、教育効果を補完していくという考え方もある。

○ 統合や通学区域を再編する際、小学校と中学校の連携という点からは、同じ小学校の卒業生が同じ中学校へ進学できるよう、通学区域の設定を行うことも望ましい。